



養豚農場内への病原体の持ち込みを防止する

養豚農場の防疫について

養豚においては、国内では26年ぶりとなる豚コレラの発生に加え、隣国韓国での口蹄疫や中国でのアフリカ豚コレラの続発等、重要疾病のリスクが非常に高まっている。今回、農場への疾病の持ち込み防止の基本について再確認したい。

全農畜産生産部 推進・商品開発課

「飼養衛生管理基準」を遵守する

・「衛生管理区域」を設定する

畜舎や周辺の飼料タンク、飼料倉庫等を含む区域との境界を、衛生管理区域柵、ロープ、白線等で区分。立て看板で農場関係者以外の立ち入りを制限する。

・衛生管理区域への病原体の持ち込みを防止する

区域を出入りする車・人・物は、消毒を徹底し、立ち上がった人の記録を保存する。当日他農場等に

立ち上がった者や、過去1週間以内に海外から入国・帰国した者は、衛生管理区域に立ち入らせない。

食品循環資源等の飼料(リサイクル飼料)に、生肉が含まれる可能性のある時は、十分に加熱処理(70℃以上で30分間以上、または80℃以上で3分間以上)する。

・野生動物による病原体の侵入を防ぐ

給餌・給水設備や飼料保管場所にいのしし、ねずみ、野鳥等の排泄

物が入らないようにする。死亡家畜は、処理までの間シートをかぶせたり蓋つきの専用容器に入れるなど荒らされないよう保管する。

・衛生管理区域の衛生状態を保つ

定期的に畜舎と道具の清掃・消毒を実施する。

以上ここまでは、農水省「飼養衛生管理基準/豚・いのしし編」からのまとめとして紹介した。

消毒薬について

病原体の殺菌・消毒には、病原体や消毒場所に適した消毒薬を、説明書に従い正しく使用することで、効力を最大限発揮させる。消毒薬の有効性は以下の表を参考としていただきたい。

表. 消毒薬の種類と対象となる微生物への有効性

| 消毒薬の種類 | アルコール類 | アルデヒド | ピグアノイド | 酸化剤 | | | | 酸 | | アルカリ | | フェノール系 | | 逆性石けん | 両性石けん |
|------------------------|----------------|--------------------------|------------------|--------------|----------------|------------------|-----|----|------|-----------------|---------|-----------------|------|-----------|-------|
| | | | | ハロゲン系 | | | 過酢酸 | 塩酸 | クエン酸 | 水酸化Na・水酸化アンモニウム | 消石灰・石灰乳 | フェノール・クレゾール石けん液 | オルソ剤 | 4級アンモニウム塩 | |
| | | | | 次亜塩素酸Na・さらし粉 | ヨウ素複合体(ヨードホルム) | 複合塩素・ジクロロイソシアヌル酸 | | | | | | | | | |
| 病原体の分類 | エタノール、イソプロパノール | ホルムアルデヒド・ホルマリン・グルタルアルデヒド | グルコン酸、クローロヘキシジン等 | 次亜塩素酸Na・さらし粉 | ヨウ素複合体(ヨードホルム) | 複合塩素・ジクロロイソシアヌル酸 | 過酢酸 | 塩酸 | クエン酸 | 水酸化Na・水酸化アンモニウム | 消石灰・石灰乳 | フェノール・クレゾール石けん液 | オルソ剤 | 4級アンモニウム塩 | 両性石けん |
| マイコプラズマ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ |
| グラム+菌 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| グラム-菌 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ |
| シュードモナス(緑膿菌等) | ◎ | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | △ | ○ |
| リケッチア | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ |
| ウイルス(エンペローブ有) | ○ | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ |
| クラミジア | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | × | ○ |
| ウイルス(エンペローブ無) | × | ○ | × | ○ | △ | ○ | ○ | — | △ | △ | △ | × | × | × | × |
| 真菌 | △ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ |
| ウイルス(エンペローブ無:口蹄疫) | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | × | — |
| ウイルス(エンペローブ無:サーコ、パルボ等) | × | △ | × | ○ | △ | ○ | ○ | × | △ | △ | △ | — | — | × | — |
| 抗酸菌(結核菌)* | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | — | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 芽胞菌(芽胞) | × | △ | × | △ | △ | — | △ | ○ | × | ○ | × | × | × | × | × |
| コクシジウム | × | △ | × | × | × | × | × | ○ | × | △ | ○+ | × | ○ | × | × |
| BSEプリオン | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |

◎:有効・有用とされる ○:有効とされる △:長時間・高濃度での作用が必要または病原体の種類によっては無効とする報告がある ×:無効・有用でないー:情報なし・保留 * :抗酸菌のうち、消毒薬耐性の強いヨーネ菌については、無効または濃度を高くする必要がある場合がある 十:石灰乳は、施設の壁面等に吹きつけ・塗布する事で凝固させ物理的封じ込めが期待できる

注:◎、○、△、×は、便宜的に設定。消毒薬の目的、病原体の被害の程度も考慮されており消毒薬の間、病原体の間での効果を比較できるものではない。本表では、ウイルスの消毒効果について、慎重な立場をとっている。芽胞菌(芽胞)・BSEプリオンへの効果は必ずしも滅菌を意味しない事に留意

出典: 家畜伝染病予防法に基づく焼却、埋却及び消毒の方法に関する留意事項(農水省2018年4月2日)より